

安全データシート

作成日2020年3月9日

改定日2022年6月13日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称Klercide 次亜塩素酸ナトリウム

製品コード32001-241, 32001-242

供給者の会社名原田産業株式会社

住所大阪府大阪市中央区南船場2丁目10番14号

担当部門ラボ・ファーマチーム

電話番号06-6244-0974

推奨用途及び使用上の制限製薬・理化学業界の工場および研究所における床、壁、作業台、機器類などの清掃用

2. 危険有害性の要約
GHS分類

物理化学的危険性引火性液体 区分に該当しない
自然発火性液体 区分に該当しない
自己発熱性化学品 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 区分に該当しない

健康有害性急性毒性(経口) 区分に該当しない
急性毒性(経皮) 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) 区分に該当しない
皮膚腐食性及び刺激性 分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 分類できない
皮膚感作性 区分に該当しない

環境有害性水生環境有害性 短期(急性) 区分2
水生環境有害性 長期(慢性) 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語警告

注意書き長期継続的影響により水生生物に毒性

安全対策環境への放出を避けること。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
漏出物は回収すること。

応急措置気分が悪い時は、医師に連絡すること。

保管換気の良い場所で保管すること。

廃棄内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
次亜塩素酸ナトリウム	0.58%	NaOCl	(1)-237	既存	7681-52-9

水	99.42%	H2O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5
---	--------	-----	----------	----	-----------

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水と石鹼で洗うこと。

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。

吸入すると有害となるおそれがある。

接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外は近づけない。

風上に留まる。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

環境中に放出してはならない。

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、砂あるいは不燃性吸収材を用いて集め、容器に入れて後で廃棄する。

大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

飲み込みを避けること。

皮膚との接触を避けること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

保管	接触回避 衛生対策	環境への放出を避けること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	安全な保管条件	保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 容器を密閉して保管すること。 推奨貯蔵温度:0～25℃
	安全な容器包装材料	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2018年版)	ACGIH (2019年版)
次亜塩素酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策		特別な換気要求事項はない。 本製品を貯蔵又は使用する設備は、洗眼できる装置及び安全シャワーを設置したほうがよい。
保護具	呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
	手の保護具	必要に応じて適切な保護手袋を使用すること。
	眼の保護具	必要に応じて適切な眼の保護具を使用すること。
	皮膚及び身体の保護具	必要に応じて適切な保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態	液体
	形状	液体
	色	透明、淡黄色
臭い		塩素臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		10.0～12.0(原液)
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		>100℃
引火点		不燃性
蒸発速度(酢酸ブチル＝1)		データなし
燃焼性(固体、気体)		適用されない
燃焼又は爆発範囲		不燃性
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気＝1)		データなし
比重(密度)		1.0～1.04
溶解度		水に可溶
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
動粘性率		データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	還元性物質と反応する。(ICSC)
化学的安定性	通常の条件においては安定である。

危険有害反応可能性		過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件		加熱。(ICSC)
混触危険物質		酸類、還元剤。(ICSC)
危険有害な分解生成物		次亜塩素酸ナトリウムは加熱により分解して、塩素等の有毒で腐食性のガスを生じる。(ICSC)
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、次亜塩素酸ナトリウム 5800mg/kg、水 >100000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が9000mg/kgのため、GHS:区分に該当しない。
	経皮	成分の急性毒性値は、次亜塩素酸ナトリウム >10000mg/kg、水 >100000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が95000mg/kgのため、GHS:区分に該当しない。
	吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	揮発性成分は水のみなので区分に該当しない。 データがなく分類できない。
皮膚腐食性及び刺激性		次亜塩素酸ナトリウムが区分1、区分1の成分濃度x10の合計が濃度限界(10%)未満、水が区分に該当しないため、区分に該当しないが、原液が強アルカリであるために分類できない。GHS:分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		次亜塩素酸ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度x10の合計が濃度限界(10%)未満であり、水が区分に該当しないため、区分に該当しないが、原液が強アルカリであるために分類できない。GHS:分類できない。
呼吸器感作性		データがなく分類できない。
皮膚感作性		すべての成分がいずれも区分外のため、GHS:区分に該当しない。
生殖細胞変異原性		データがなく分類できない。
発がん性		データがなく分類できない。
生殖毒性		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		データがなく分類できない。
誤えん有害性		データがなく分類できない。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		次亜塩素酸ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度X毒性乗率X10が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分2「水生生物に毒性」に該当する。
水生環境有害性 長期(慢性)		次亜塩素酸ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度X毒性乗率X10が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分2「長期継続的影響により水生生物に毒性」に該当する。
オゾン層への有害性		モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則

Regulatory Information
by Sea

Complied with IMO.

UN No.

3082

Proper Shipping
NameENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE,
LIQUID, N.O.S.

Class

9

Packing Group

III

Marine Pollutant

P

Harmful Liquid
Substances

Not Applicable

Regulatory Information
by Air

Complied with ICAO/IATA.

UN No.

3082

Proper Shipping
Name

Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.

Class

9

Packing Group

III

国内規制

陸上規制

非該当

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国連番号

3082

品名

環境有害物質(液体)

クラス

9

容器等級

III

海洋汚染物質

P

有害液体物質

非該当

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号

3082

品名

環境有害物質(液体)

クラス

9

等級

3

特別の安全対策

輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

171

15. 適用法令

船舶安全法

有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

その他の有害物件(施行規則第194条危険物告示別表第1)

16. その他の情報

連絡先

原田産業株式会社

参考文献

NITE GHS分類公表データ
EU CLP Regulation, AnnexVI
RTECS
ECHA C&L Inventory Database
ECHA Registered substances Database
国際化学物質安全性カード(ICSC)

Ecolab Inc. 「Klercide Sporicidal Active Chlorine」SDS
(01/10/2019)

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。

JIS 2019年版に対応済みです。